



# 浜宮だより

平成26年1月号  
(2014年)  
NO. 339号

和歌山市立浜宮小学校

## 七草がゆはなぜ食べる？



—伝統の中に合理性を見つける—

あけましておめでとうございます。皆様おそろいでよいお年を迎えられたことと存じます。本年も何卒よろしくお願ひ致します。

さて、昨日七日は七草でした。『七草』とは、この日に七種類の野草をかゆに入れて食べる、私たち日本人の伝統文化です。七草の種類は、時代や地方によって多少異なりますが、一般的には、セリ(セリ科の多年草、日本で最も栽培の歴史の古い野草のひとつ)、ナズナ(アブラナ科の一年草、ペンペン草とも言う)、ゴギョウ(キク科の二年草、ハハコグサとも言う)、ハコベラ(ナデシコ科の一年草、ハコベとも言う)ホトケノザ(キク科の越年草タビラコのこと 田や畔に自生する)、スズナ(カブの古名)、スズシロ(大根の古名)の七種類の野草を指すようです。

松尾芭蕉の俳句に「よく見ればなずな花咲く垣根かな」というのがあります。ナズナはどこにでもあふれる雑草で見過ごされがちですが、その白い可憐な花に目を向けたところに芭蕉の美意識が感じられます。

また、ずっと昔の平安時代の女流文学者、清少納言の『枕草子』の中に「七日の若菜、六日、人の持て来」という一文があります。どうやら平安時代の貴族の間では、正月七日の日に無病息災を祈って七種の菜を煮て食べる習慣があったようです。それが庶民にも広がり、室町時代頃に七草がゆにするようになったようです。

江戸時代になると、正月六日に摘み草をして、その日の夜に豊年を祈るはやしことばを唱えながら、包丁でたたき、翌朝は刻んだ葉を入れて炊き込んだ七草がゆを家族みんなで、無病息災を願って食べました。

今では、都市化にともなって摘み草の習慣はなくなりましたが、スーパーで七草セットを買ってきても七草がゆをつくって食べる習慣は残っています。

古くからあった初春に野草を食べる行事がおかゆや雑草と結びつき、七草がゆの型ができあがってきたようです。厳寒をついて芽ぐむ七種の野草には、野生の味と香りのほかに、現代的に考えても、ビタミン類を補う意味もあり、万病の菜食として食べつがれてきた伝統があるようです。

七草には、春の七草のほかに秋の七草もあります。万葉集で山上憶良が詠んだ「秋の野に咲きたる花を指折り(およびおり)かき数うれば七種(ななくさ)の花」で紹介される、萩・尾花(ススキ)・葛・撫子(ナデシコ)・女郎花(オミナエシ)・藤袴(フジバカマ) 朝顔(キキョウ)の七種の花で、食べるものではなく、見て楽しむものようです。

伝統的な習慣である春の七草ですが、そこには、数々の思いや、冬期の健康のための工夫があることをお子さんと話し合っただけならば幸いです。

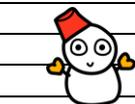
校長 西端 幸信



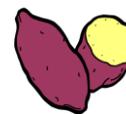
### 【1月の行事予定】



1	水	元旦	18	土	県PTA指導者研修会
8	水	3学期始業式 学校安全の日 登校指導 セーフティネットの日 児童下校>11時半 安全点検ウィーク いじめなくそうデー	22	水	クラブ活動(3年見学)
			22	水	給食費引き落とし日 4000円+10円=4010円
9	木	給食開始	24	金	書き初め会校内締め切り
13	月	成人の日	25	土	市科学作品展 フォルテワジマ
14	火	身体測定5.6年	26	日	市科学作品展 フォルテワジマ
15	水	身体測定3.4年 委員会活動	28	火	4年福祉体験1限から4限(ランチ体育館)
16	木	身体測定1.2年 避難訓練(地震、火災想定)	29	水	学力補充(4~6年)5限目
17	金	全校朝の会	31	金	5年 御坊火力発電所見学
18	土	後期学校美術展 市民会館	31	金	租税教室6年生2~4限
19	日	後期学校美術展 市民会館			



## おいもパーティー ~2年生~



自分たちでそだてたおいもで、パーティーをしました♪ おいしく食べることができました!



はい、はい!!  
何時ごろおきゃくさんが多いですか?

お店で働く人の工夫や努力、商品の表示やならべ方などを知ることができました。ふだん入れないバックヤードも見学させていただきました。

